

事務事業名		幹線道路整備事業		目標設定日	平成31年3月1日
				部・局	建設水道部
総合 計画 体系	基本政策	5	安心・安全な住みよいまちづくり	課・室	道路河川課
	政策	06	身近な生活基盤の充実	係	土木費
	施策	03	暮らしを支える道路網の整備	内線電話	264
予算 体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	8款	土木費	計上	
	項	2項	道路橋梁費	実施期間	
	目	3目	道路新設改良費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	市民	快適な道路通行	
現状・課題	産業活動の基盤となる道路整備		
市が行う理由 及びその根拠	任意的自治事務	市道の整備を図る。	
事務事業概要	地域の産業経済の発展に重要な役割を担う、幹線道路の整備を図る。		
平成31年度 の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	高丘9号線		道路改良工事 L=220m
	大俣線		用地補償 一式
	大俣線		道路改良工事 L=560m
	岩船中央線		歩道改良工事 L=600m

事務イン 事業プ ット コスト	項目		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	予算額	当初予算	円		65,600,000	87,000,000
補正予算		円			2,170,000	—
合計		円		65,600,000	89,170,000	196,600,000
決算（見込）額 A			円	25,748,371	73,260,000	—
財源内訳	国庫支出金	円		10,121,000	14,235,000	97,200,000
	県支出金	円				
	市債	円		1,600,000	17,600,000	75,600,000
	その他特定財源	円				
H31は予算額	一般財源	円		14,027,371	41,425,000	23,800,000
正規職員数			人	1.12	1.54	1.93
人件費 B			円	7,222,880	9,908,360	12,417,620
総事業費 A+B			円	32,971,251	83,168,360	209,017,620
市民1人当たりコスト			円	763	1,944	4,885

成果指標	アウトカム	方向	平成29年度		平成30年度		平成31年度		
高丘9号線		維持	目標	100.0	%	100.0	%	100.0	%
			成果	93.0	%	96.0	%	—	
大俣線		維持	目標	20.0	%	21.0	%	50.0	%
			成果	14.0	%	19.0	%	—	
成果指標と目標値 を設定した理由	安全で快適な道路交通の確保を図るため。								

平成31年度の 実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	ここ数年、国の内示率が低いことから、予算配分を考慮しメリハリのある事業執行に努める。						

